

現在の L^AT_EX 設定一覧

L_YX が自動的に生成（編集しないでください）

2011 年 5 月 15 日

このファイルは、L_YX が取り扱うことができる L^AT_EX の各追加機能について説明しています。以下に 6 つの節があります。

1. 現在の L^AT_EX 装備の基本情報。特に、現在の L^AT_EX のバージョンが充分新しいかどうか確認してください。
2. L_YX が認識する標準フォント。いまのところ、少しのエントリしかありません。
3. どの L^AT_EX の実装においても標準とみなされる文書クラス。この節は、完備性のためにのみ存在します。
4. L_YX が認識する非必須の文書クラス。これらのうち、いくつかがなく（「検出」項目が「いいえ」になっている）その機能を必要とする場合には、最寄りの CTAN の FTP サイト¹から入手することができます。サイト内の場所は「CTAN」項目に示されています。検出された文書クラスのみが、L_YX の文書レイアウトとして使うことができる点に留意してください。
5. L^AT_EX 開発者が「必須」と太鼓判を押したパッケージ。これらは必ずなくてはなりませんが、使用中の L^AT_EX 頒布版が少し古い場合には、存在しないものもあるかもしれません。
6. 作成中の文書のマージンを変更しようとするときに L_YX が使用するパッケージ。いまのところ、これらが見つかるかどうかは、L_YX 内部で利用できる選択肢には影響しません。
7. L_YX に欲しい機能であり、L^AT_EX 装備にも追加したいと思うような標準的な L^AT_EX パッケージ。いまのところ、これらが見つかるかどうかは、L_YX 内部で利用できる選択肢には影響しません。

¹Comprehensive T_EX Archive Network に参加しているホストには、

```
ftp://ftp.dante.de/tex-archive  
ftp://ctan.tug.org/tex-archive  
ftp://ftp.tex.ac.uk/tex-archive
```

があります。これら 3 つの主要サイトにも列挙してあるように、これ以外に膨大な量のミラーサイトが存在します。

これらのパッケージのほとんどは、 teTeX のような新しい TeX 頒布版を使っていれば、利用可能です。もし、存在しないアイテムを装備しようと決めたら、 $\mathrm{L\!Y\!X}$ にそのことを教えなくてはなりません。インストールし終えたら、メニュー項目 ツール▷再初期設定²を使ったあと、このファイルを再度読み込んで、新しいパッケージが認識されたかどうかを確認してください。もし「検出」項目が「???」となっているときは、何らかの理由で現在の $\mathrm{L\!A\!T\!E\!X}$ 設定の一覧を取得できなかったことを示しています。もし teTeX をお使いならば、装備済みの新しいパッケージが見つからなかったことを示しているかもしれません。 teTeX に設定を更新させるコマンド `texhash` を実行し忘れた可能性があります。

1 フォント

1.1 Almost European (AE)

検出：いいえ

CTAN：fonts/ae/

備考：AE パッケージは、 $\mathrm{L\!A\!T\!E\!X}$ の標準フォント (Computer Modern) の擬似的な PostScript® 版を提供します。特別な事情がなければ、このフォントではなく、Latin Modern を使用することを推奨します。

1.2 Bera

検出：いいえ

CTAN：fonts/bera

備考：bera フォントは、Bitstream Vera のクローンであり、Bera Serif (slab-serif のローマン体)、Bera Sans (Frutiger の後継)、および Bera Mono (等間隔/タイプライタ) を含みます。

1.3 CM bright

検出：いいえ

CTAN：fonts/cmbright

備考：CM bright は、すばらしいサンセリフ数式フォントも同時に提供する、サンセリフフォントです。

²あるいは、もしシステム全体の設定を変えたいならば、 $\mathrm{L\!Y\!X}$ システムディレクトリ (既定では `/usr/local/lib/lyx/`) でコマンド `./configure` を実行してください。

1.4 Concrete

検出：いいえ

CTAN：macros/latex/contrib/ccfonts/

備考：ccfonts パッケージは、Donald Knuth が書籍『*Concrete Mathematics*』のためにデザインしたフォントのサポートを提供します。本の題名から concrete フォントと呼ばれています。

1.5 EC フォント

検出：はい

CTAN：fonts/ec

備考： \LaTeX では ec フォントを使うことは必須ではありませんが、これを使うことを強く推奨します。ec フォントは、より自然な範囲のフォント寸法を揃えており、cmr10 のような古いフォントよりも優れたハイフネーションやカーニングを実現します。もし dc フォントと呼ばれるフォントを装備しているのであれば、その後継である ec フォントにアップグレードしてください。 \LaTeX は、このフォントが装備されていることを検知すれば、自動的に使用します。

1.6 Eco

検出：いいえ

CTAN：fonts/eco/

備考：eco パッケージは、 \LaTeX が Computer Modern フォント族の旧式の数字にアクセスするのに使用します。

1.7 feyn

検出：いいえ

CTAN：fonts/feyn/

備考：feyn パッケージは、数式中でファインマン図を使う際（ \LaTeX コマンド `\Diagram`）に使用されます。

1.8 fourier-GUTenberg

検出：はい

CTAN：fonts/fourier-GUT

備考：fourier パッケージは、Utopia PostScript®フォントのサポートを提供します。PSNFSS 群に付いてくる utopia パッケージとは異なり、これは適当な数学フォントも提供します。もしこのパッケージが装備されていれば、Utopia フォントを選択した際に、utopia の代わりにこれが使われるようになります。

1.9 Latin Modern

検出： はい

CTAN： fonts/lm/

備考： Latin Modern フォントは、 \LaTeX 標準フォント (Computer Modern) の PostScript®版です。このフォントを最終的に \LaTeX の既定フォントとすることが企図されています。AE のような、他の Computer Modern の PostScript®版を使うよりも、この Latin Modern フォントを使用することを推奨します。

1.10 LuxiMono

検出： いいえ

CTAN： fonts/LuxiMono/

備考： luximono パッケージは、等間隔フォントである Luxida Mono フォントのサポートを提供します。

1.11 psnfss

検出： はい

CTAN： macros/latex/required/psnfss/

備考： psnfss 群を使えば、 \LaTeX が使うフォントを、PostScript®プリンタで利用可能な 35 の伝統的フォントに変更することができるようになります。現在のところ、 \LaTeX における psnfss のサポートは限られています。文書▷設定の中でフォントの組み合わせを選ぶことができます。

psnfss のバージョンによって、提供するフォントパッケージは異なります。 \LaTeX は古くなったパッケージもサポートしますが、つねに最新版が装備されているように留意されることをおすすめします。最近の psnfss 群は少なくとも次のものを含んでいます。

- mathpazo (newest Palatino support). 検出： はい
- mathppl (deprecated Palatino support). 検出： はい
- mathptmx (newest Times support). 検出： はい
- mathptm (deprecated Times support). 検出： はい
- utopia (Utopia). 検出： はい
- avant (Avant Garde). 検出： はい
- bookman (Bookman). 検出： はい
- charter (Charter). 検出： はい
- newcent (New Century Gothic). 検出： はい
- chancery (Zapf Chancery). 検出： はい

1.12 tipa/tipx

検出： はい

CTAN： fonts/tipa/

備考： tipa パッケージは、『国際音声字母 (IPA)』で定義されているように、発音記号を植字するのに必要な包括的なサポートとフォントを提供します。これらの記号は、 \LaTeX の数式エディタあるいは挿入▷特殊文字▷記号ダイアログから入力することができます。

2 標準 \LaTeX 文書クラス

本節で取り扱われている文書クラスは、 \LaTeX が提供している基本文書クラスです。特に、 $\text{\LaTeX}_{2\epsilon}$ が装備されている限り、これらはすべてお使いのシステム上に存在するはずです。したがって、あるクラスが検出されない则表示されている場合は、そのクラスをサポートするレイアウトファイルが見つからなかったことを意味します。

2.1 article

検出： はい

CTAN： 該当なし

備考： 標準文書クラス article は、論文や短い文章を植字するのに使われます。 \LaTeX の基本となる文書クラスです。

2.2 report

検出： はい

CTAN： 該当なし

備考： 標準文書クラス report は、article に似ていますが、もう少し構造的です（各部をサポートしています）。

2.3 book

検出： はい

CTAN： 該当なし

備考： 標準文書クラス book は、名前の示すように、書籍を作ることを目的としています。特に章割りをサポートしています。

2.4 letter

検出：はい

CTAN：該当なし

備考：標準文書クラス letter は、おもに英語で手紙を書くための基本クラスです。

2.5 slides

検出：はい

CTAN：該当なし

備考：標準文書クラス slides は、OHP を作成するためのものです。L_YX によるサポートは充分とは言えません。可能ならば、代わりに foils を使うことをお勧めします (3.16 参照)。

2.6 amsart

検出：はい

CTAN：macros/latex/required/amslatex/classes/

備考：文書クラス amsart は、article クラスの同等品です。これは、AMS- \LaTeX パッケージの一部であり、アメリカ数学会が開発した外観を持つ、数式の植字のために使われます。当学会の書籍や学術雑誌だけでなく、他の数学文献での出版のための原稿を準備するために使うことが推奨されています。アメリカ数学会は、投稿文書を AMS- \LaTeX で準備し、それを使っていることを謝辞に書くことを要請しています。L_YX によるサポートはまだ制限されています。

3 追加的文書クラス

3.1 aa

検出：いいえ

CTAN：該当なし (FTP サイト <ftp.edpsciences.org> のディレクトリ/pub/aa/ から利用可能)

備考：文書クラス aa (バージョン 5.01) は、EDP サイエンス社発行の科学専門誌『*Astronomy and Astrophysics* (天文学と天体物理学)』に論文を投稿するのに使うことができます。

3.2 aastex

検出：いいえ

CTAN：該当なし（アメリカ天文学会の FTP サイト <ftp.aas.org> のディレクトリ/pubs から利用可能）

備考：文書クラス aastex は、アメリカの学術誌『*Astrophysical Journal*（天体物理学ジャーナル）』、『*Astronomical Journal*（天文学ジャーナル）』、『*Publications of the Astronomical Society of the Pacific*（太平洋天文学会誌）』へ投稿する論文を執筆するのに使用することができます。

3.3 アメリカ経済学会（AEA）発行の学術誌

検出：いいえ

CTAN：N/A

WWW：http://www.aeaweb.org/templates/latex_templates.zip

備考：文書クラス AEA は、アメリカ経済学会（AEA）が発行する、*American Economic Review*・*Papers and Proceedings*・*Journal of Economic Literature*・*Journal of Economic Perspectives*・*American Economics Journal* の各誌への投稿に使用することができます。パッケージの使用は、`amsmath`・`graphicx`・`harvard` などの基本機能を提供するものに限定しなくてはなりません。AEA- \LaTeX -AuthorGuide.pdf およびウェブサイト <http://www.aeaweb.org/aer/authref.php> にある Information for Authors をよくお読みください。ひな型 AEA.lyx を用いて執筆を始め、そこにある説明もお読みください。

3.4 アメリカ地球物理学会（AGU）発行の学術誌

検出：いいえ, いいえ

CTAN：macros/latex/contrib/aguplus

備考：文書クラス jgrga は、アメリカ地球物理学会（AGU）が発行する『地球物理学研究誌（*Journal of Geophysical Research*）』への論文を執筆するのに使用することができます。

このレイアウトは二つの部分からなります。一つは一般的に用いられる部分 `aguplus.inc` で、もう一つはこの研究誌向けの部分 `jgrga.layout` です。このレイアウトはまだ完全にはテストされていません。これをアメリカ地球物理学会が発行する他の出版物に拡張することは、比較的容易だと思われます。

文書クラス `agums`（ファイル `agums.layout`）は、アメリカ地球物理学会の編集者への最初の投稿を執筆する（例えば、審査用やコピーエディット用）のに使用することができます。

3.5 beamer

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/beamer`

備考：プレゼンテーションとスライドを作成するための \LaTeX クラス。

3.6 broadway

検出：いいえ

CTAN：該当なし (\LaTeX ソース頒布版の `tex/ディレクトリ` からインストールしなくてはなりません)

備考：文書クラス `broadway` は、戯曲を書くためのものです。既存の \LaTeX の文書クラスではなく、 \LaTeX とともに新たに頒布されているものです。

3.7 cl2emult

検出：いいえ

CTAN：該当なし

FTP: `ftp://ftp.springer.de/pub/tex/latex/compsc/proc/author`

備考：文書クラス `cl2emult` は、Springer 社の書籍を共著で執筆するためのものです。

3.8 dinbrief

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/dinbrief/`

備考：文書クラス `dinbrief` は、ドイツ語の慣習に則って書簡を書くのに使うことができます。

3.9 docbook

検出：いいえ

CTAN：該当なし

WWW: `http://www.sgmltools.org`

備考：文書クラス `docbook` は、 \LaTeX の文書クラスではありません。Docbook SGML の文書を生成するためにデザインされたものであり、そこから (`jadetex` を通じて) HTML や RTF、テキスト、あるいは `dvi` をエクスポートすることができます。これを使うには、`sgmltools v2.0` パッケージが導入されている必要があります。

3.10 dtk

検出：いいえ

CTAN: [usergrps/dante/dtk/](http://www.ctan.org/usergrps/dante/dtk/)

備考：文書クラス dtk は、ドイツ T_EX ユーザーグループ誌「Die T_EXnische Komödie」への論文を執筆するのに使うことができます。

WWW: <http://www.dante.de>

3.11 egs (欧州地球物理学会の各学術誌)

検出：いいえ

CTAN: 該当なし

備考：文書クラス egs は、欧州地球物理学学科季への論文を執筆するのに使用することができます。

3.12 elsart

検出：いいえ

CTAN: [macros/latex/contrib/elsevier/](http://www.ctan.org/macros/latex/contrib/elsevier/)

WWW: <http://authors.elsevier.com/>

備考：このパッケージは、Elsevier Science 発行の各学術誌への論文を作成するために作られたものです。

3.13 entcs

検出：いいえ

CTAN: 該当なし

WWW: <http://math.tulane.edu/~entcs/>

備考：文書クラス entcs は、ENTCS シリーズや多くの学会報でも用いられる、Elsevier Science 社発行『Electronic Notes in Theoretical Computer Science』用の論文スタイルです。

3.14 europecv

検出：いいえ

CTAN: [macros/latex/contrib/europecv](http://www.ctan.org/macros/latex/contrib/europecv)

備考：文書クラス europecv は、欧州連合の公式ガイドライン (Europass) に則った履歴書を作成するために作られたものです。したがって、欧州言語能力の自己評価も含まれています。この文書クラスを用いた履歴書の例が、用例文書として提供されています。

3.15 extsizes

検出: extarticle: いいえ, extbook: いいえ, extreport: いいえ, extletter: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/extsizes/

備考: これらの文書クラスは、対応する標準クラス (article, book, ...) を基に、文書内で使えるフォント寸法の数を増やしたものです。

3.16 foils

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/foiltex/

備考: 文書クラス foils (Foil \TeX と呼ばれます) は、スライドを作成する標準クラス slides の代替物です。相互参照が可能となっており、少し綺麗なフォントを使用するなど、全般的に slides を使用するよりは大きく改善されています。しかしながら、seminar クラス (\LaTeX は今のところサポートしていません) が持っているような、進んだ機能の一部は備えていません。ライセンスの制約の関係で、 $\text{te}\text{\TeX}$ のような無料の \TeX 頒布版には含まれていないことに注意してください。

3.17 g-brief-en

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/g-brief/

備考: 文書クラス g-brief-en は、素敵な装いのビジネスレターを書くのに使うことができます。

3.18 g-brief-de

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/g-brief/

備考: 文書クラス g-brief-de は、ドイツ語のラベルを用いていること以外は、上記の g-brief-en と同じです。

3.19 g-brief2

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/g-brief/

備考: 文書クラス g-brief2 は、素敵な装いのビジネスレターを書くのに使うことができます。g-brief の後継として、より自由度が高くなっていますが、g-brief との後方互換性はありません。この文書クラスのひな型文書が \LaTeX に付属しています。

3.20 hollywood

検出：いいえ

CTAN：該当なし (L_YX ソース頒布版の tex/サブディレクトリからインストールしなくてはなりません)

備考：文書クラス hollywood はアメリカ映画産業向けのスペック・スクリプト (持ち込み原稿 - 依頼主なしに書かれた「投機的」脚本) を書くのに使うことができます。既存の L^AT_EX の文書クラスではなく、L_YX とともに新たに頒布されているものです。

3.21 IEEEtran

検出：いいえ

CTAN：macros/latex/contrib/IEEEtran/

備考：IEEEtran クラスは、大半の IEEE (電気電子学会) 会誌への投稿に適した文書を生じます。このクラスを使おうとお考えならば、<http://www.ieee.org> の IEEE Author Information のページをご参照ください。IEEEtran.cls と IEEEtran.sty の二種類のファイルがあることに注意してください。.sty ファイルは L^AT_EX 2.09 向けなので、L_YX で使うには、必ず .cls ファイルの方を入手しなくてはなりません。また、もし入手したファイルが ieetran.cls のように小文字になっている場合には、L_YX が検知することができませんので、IEEE が大文字になっている新しいバージョンにアップグレードしてください。

3.22 ijmpc

検出：いいえ

CTAN：該当なし

WWW：<http://www.worldscinet.com/ijmpc/mkt/guidelines.shtml> から入手可能

備考：文書クラス ijmpc は、World Scientific 社が発行する『International Journal of Modern Physics C』(通常 IJMPC と略称される) へ投稿する論文を執筆するために用いることができます。

3.23 ijmpd

検出：いいえ

CTAN：該当なし

WWW：<http://www.worldscinet.com/ijmpd/mkt/guidelines.shtml> から入手可能

備考：文書クラス `ijmpd` は、World Scientific 社が発行する『International Journal of Modern Physics D』(通常 IJMPD と略称される)へ投稿する論文を執筆するために用いることができます。

3.24 `iopart`

検出：いいえ

CTAN：該当なし

WWW：<ftp://ftp.iop.org/pub/journals/latex2e>から入手可能

備考：文書クラス `iopart` は、イギリス物理学会 (IOP) が発行する学術誌への論文を執筆するために用いることができます。

3.25 日本語標準クラス

検出：`jreport`: はい, `jbook`: はい, `tarticle`: はい, `treport`: はい, `tbook`: はい

CTAN：[install/language/japanese/ptex.tds.zip](#)

備考：これらの文書クラスは、 \LaTeX の基本文書クラス `article`・`report`・`book` の別バージョンを提供します。これらは日本語を書くのに適したように修正されています。「`t-`」で始まるクラスは、伝統的な縦書きをするのに使用します。

3.26 日本語新標準クラス

検出：`jsarticle`: はい, `jsbook`: はい

CTAN：[macros/latex/contrib/jsclasses/](#)

備考：これらの文書クラスは、日本語を植字するのにより見栄えの良い、 \LaTeX の基本文書クラス `article`・`report`・`book` の別バージョンを提供します。`report` クラスと同等のものは、`jsbook` クラスに「`report`」オプションを与えることで得ることができます。

3.27 `jss`

検出：いいえ

CTAN: N/A

WWW: available from <http://www.jstatsoft.org/downloads/JSSstyle.zip>.

備考：文書クラス `jss` は、『Journal of Statistical Software (JSS)』への論文を執筆するのに用いることができます。

3.28 kluwer

検出：いいえ

CTAN：該当なし

WWW: Kluwer Academic Publishers のサイト <http://www.wkap.nl/kaphtml.htm/STYLEFILES> から入手可能

備考：文書クラス kluwer は、『*Astrophysics and Space Science* (天体物理学と宇宙科学)』や『*Solar Physics* (太陽系物理学)』等、多くの Kluwer Academic Publishers 社発行の学術誌への論文を執筆するのに用いることができます(完全なリストについては <http://www.wkap.nl/jrnllist.htm/JRNLHOME> をご参照ください)。

3.29 KOMA-Script

検出：scrartcl: はい, scrreprt: はい, scrbook: はい

CTAN：macros/latex/contrib/koma-script/

備考：これらの文書クラスは、 \LaTeX の基本文書クラス article・report・book の別バージョンを提供します。これらの出力は多少なりとも改善され、ヨーロッパの植字標準に適合するように修正されています。

3.30 KOMA-Script letter

検出：scrlettr: はい, scrlettr2: はい

CTAN：macros/latex/contrib/koma-script/

備考：これらの letter クラスは、Koma-Script クラスに同梱されているものです(3.29参照)。 \LaTeX は、古い(サポートの打ち切られた)scrlettr クラスと、Koma-Script 第 2.9 版(2002 年 6 月 21 日リリース)で導入された、新しくはるかに自由度の高い scrlettr2 クラスの両方のレイアウトを提供しています。

3.31 latex8

検出：いいえ

CTAN：該当なし

備考：クラス latex8 は、実体は、文書クラス article にいくつかの追加機能を盛り込んだ \LaTeX スタイルファイルです。IEEE の学会へ提出するのに適した文書を作成します。各 \LaTeX ファイル (Bib \TeX スタイルファイルを含む) は、IEEE 主催学会向けの Author Kit とともに頒布されています。

3.32 linuxdoc

検出：いいえ

CTAN：該当なし

備考：linuxdoc クラスは、LaTeX の文書クラスではありません。これは、LinuxDoc-SGML 文書を作成するためにデザインされたものであり、その文書からは、HTML や RTF、テキストファイル、LaTeX ファイル等にエクスポートをすることができます。これを使うためには、一連の sgml-tools (LinuxDoc と呼ばれます) プログラムを装備している必要があります。

3.33 llncs

検出：いいえ

CTAN：該当なし

備考：文書クラス llncs は、Springer 社の学術誌『Lecture Notes in Computer Science (計算科学講義ノート)』へ提出する論文を執筆するのに用いることができます。LaTeX 文書は、以下のアドレスの、Springer の FTP サイトから入手することができます。

<ftp://trick.ntp.springer.de/pub/tex/latex/llncs/latex2e>

この文書クラスの L_AT_EX レイアウトファイルは、まだ不十分にしか検証されていません。

3.34 memoir

検出：いいえ

CTAN：macros/latex/contrib/memoir/

備考：memoir は、一般的なフィクションやノンフィクション、書籍・レポート・論文・草稿などの各形態の数学著作の植字に用いることができる柔軟性の高いクラスです。文書は、9・10・11・12・14・17 ポイントを標準のフォント寸法として用いることができます。ご自身のデザインを作り出すことを可能にする多くの方法が提供されています。

3.35 moderncv

検出：いいえ

CTAN：macros/latex/contrib/moderncv

備考：文書クラス moderncv は、素敵な履歴書を作成することを目的に作られたものです。これは、参考文献機能をサポートするので、学術分野の方には便利です。この文書クラスを用いた履歴書の例が、用例ファイルとして含まれています。

3.36 mwcls (mwart, mwbk, mwrep)

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/mwcls/`

備考：これらの文書クラスは、 \LaTeX の基本文書クラス `article`・`report`・`book` の別バージョンを提供します。これらは、ポーランド語植字標準に適合するように Marcin Woliński によって修正されたものです。

3.37 paper

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/paper/`

備考：文書クラス `paper` は、標準クラス `article` の代替物です。同様の機能を提供しますが、サンサリフ体の節見出しやヘディングなど、こちらのレイアウトの方を気に入られることでしょう。

3.38 powerdot

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/powerdot`

備考：プレゼンテーションやスライドを作成するための \LaTeX クラスです。

3.39 SPIE

検出：いいえ

CTAN: 該当なし

WWW: <http://public.lanl.gov/kmh/spie/>

備考：`spie.cls` は、SPIE (国際光工学会) の学会報への投稿用のクラスです。草稿投稿についての詳しい情報は、SPIE ウェブサイト <http://spie.org/app/Publications/index.cfm?fuseact> にあります。

3.40 REVTeX

検出：はい

CTAN: `macros/latex209/contrib/revtex/`

備考： \LaTeX 3 クラスを用いるこのクラスは、`revtex4` クラスに引き継がれたので、代わりにそちらをお使いください (古い `revtex` クラス文書は、たいへん容易に新しいクラスに切り替えることができます)。何らかの理由でこのクラスを使わなくてはならない場合には、 \LaTeX ソース頒布版の `tex/サブディレクトリ` にある `revtex.cls` を使用してください。

3.41 REVTeX 4

検出：はい

CTAN: `macros/latex/contrib/revtex/`

備考：REVTeX 4は、アメリカ物理学会 (APS) (『Physical Review A～E』・『Reviews in Modern Physics』・『Physical Review Special Topics—Accelerators and Beams』) やアメリカ物理学協会、アメリカ光学会、アメリカ物理探査学会等の学術誌への草稿を提出するのに用いることができるクラスです。
<http://publish.aps.org/revtex4/> もご参照ください。

3.42 SIAMLT_{EX}

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/siam/siamltx.tar`

備考：アメリカ応用数学会 (ペンシルバニア州フィラデルフィア、SIAM) は、この L^AT_EX スタイルを提供することによって、SIAM スタイル標準にしたがった高品質な植字がなされることを望んでいます。

3.43 simplecv

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/simplecv`

備考：文書クラス simplecv は、簡素ながらエレガントな履歴書を書く方法を提供せんとするものです。比較的簡潔なスタイルではありますが、学術関係者に便利な参考文献のサポートなど優れた機能を持っています。これは、長い間 L^AT_EX とともに提供されてきた cv クラスを再編したものです。名称変更が必要となったのは、CTAN に別の cv クラスが存在したためです。この文書クラスを用いた履歴書の例が、用例ファイルとして含まれています。

3.44 Springer 社発行の学術誌一般

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/springer/svjour/global`

WWW: <http://www.springeronline.com>

備考：Svglobal は、特定のスタイルが提供されていない、すなわち上記 Springer 社のサイトにある journal author guidelines が svglobal スタイルを使うように指示している、Springer 社発行の学術誌での出版に適したフォーマットです。対応する文書クラスファイルと関連したマテリアルは、Springer のサイトにあります。レイアウトは二つの部分からなり、全ての Springer 発行誌に共通の svjour.inc と、svjour.inc を含み、特定のスタイルがない全ての Springer 発行誌に既定のスタイルである svglobal.layout からな

ります。他の Springer 誌をサポートする自家製の sv<学術誌名>をお作りになることもできます（意味はお分かりですね？）。クラスの既定として含まれている global 追加文書クラスオプションを指定する必要があることに注意してください。

3.45 Springer 社発行『Journal of Geodesy』誌

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/springer/svjour/jog`

WWW: <http://www.springeronline.com>

備考: svjog は、Springer Verlag 社、特に『Journal of Geodesy (測地学誌)』で使われている組版形式のためのものです。まだ十分には検証されていません。詳しい情報については、第 3.44 節を参照してください。

3.46 Springer 社発行『Probability Theory and Related Fields』誌

検出：いいえ

CTAN: `macros/latex/contrib/springer/svjour/prothe`

WWW: <http://www.springeronline.com>

備考: svprobth は、学術誌『Probability Theory and Related Fields (確率論と関連領域)』での出版に適したフォーマットです。詳細は、第 3.44 節をご参照ください。

3.47 Springer 社刊モノグラフ

検出：いいえ

CTAN: `ftp://ftp.springer.de/pub/tex/latex/svmonogl/`

WWW: <http://www.springeronline.com>

備考: svmono は、Springer Verlag 社発行のモノグラフ用です。モノグラフの章立てについては、添付ひな型をご覧ください。

3.48 Springer 社刊編著書籍

検出：いいえ

CTAN: `ftp://ftp.springer.de/pub/tex/latex/svmultgl/`

WWW: <http://www.springeronline.com>

備考: svmult は、Springer Verlag 社発行の編著書用です。書籍の章立てについては、添付ひな型をご覧ください。

3.49 TUGboat

検出: いいえ

CTAN: plain/contrib/tugboat.tar

備考: 文書クラス ltugboat は、 $\mathrm{T}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ ユーザーグループの『TUGboat』誌への論文を執筆するのに用いることができます。

WWW: <http://www.tug.org>

3.50 国際写真学・リモートセンシング学会 (ISPRS)

Found いいえ

CTAN: 該当なし

備考: isprs は、この学会の学術誌に論文を執筆するのに用いることができます。

WWW: http://www.photogrammetry.ethz.ch/tarasp_workshop/isprs.cls

4 必須パッケージ

本節には、 $\mathrm{L}^{\mathrm{A}}\mathrm{T}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ メンテナたちが「必須」と宣言しているパッケージが列挙されています。もし一つでも検出されなかった場合には、お使いの $\mathrm{L}^{\mathrm{A}}\mathrm{T}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ システムをアップグレードすることを真剣に考えるべきです。

4.1 amstext

検出: はい

CTAN: macros/latex/required/amslatex/math/

備考: amstext パッケージは、unicode シンボルを数式内で上付きや下付き文字にする際、 $\mathrm{L}_{\mathrm{Y}}\mathrm{X}$ が正しい寸法に調整するのに必要とします。

4.2 array

検出: はい

CTAN: macros/latex/required/tools/

備考: array パッケージは、 $\mathrm{L}_{\mathrm{Y}}\mathrm{X}$ が表の中で「上揃え」以外の垂直揃えをできるようにするために必要です。

4.3 babel

検出：はい

CTAN: macros/latex/required/babel/

備考：babel パッケージは、現在の文書をお好みの言語向けにカスタマイズすることを可能にします（文書▷設定...▷言語ダイアログを参照）。とりわけこのパッケージは、ハイフネーションと、「章」や「目次」のようなラベル全ての自動翻訳を担当します。もし、英語だけをお書きになり、英語以外の引用もしないのであれば、このパッケージは必要ありません。

お使いの L^AT_EX 装備には、以下の言語のハイフネーションパターンが入っています：いいえ

もしご利用になる言語がこのリストにない場合には、それが入るように L^AT_EX の装備を再設定しなくてはなりません。te_Xの場合には、texconfig を実行することになります。

4.4 bm

検出：はい

CTAN: macros/latex/required/tools/

備考：bm パッケージは、ボールド体の数学記号にアクセスするコマンドを定義しています。基本となるコマンドは、引数をボールド体にする `\bm` コマンドです。引数は、一つの記号から数式表現まで、任意の数式オブジェクトをとることができます。使用可能なときには、`\hm` コマンド（`\heavysymbol` へのエイリアス）を使用すれば、極太フォントにアクセスすることができます。`\bm` コマンドは、amsmath の `\boldsymbol` コマンドに似ていますが、bmの方が処理のしかたが慎重です。このパッケージは、ボールド体用のシンボルフォントを通常の数式フォントに割り当ててしまうため、多くのシンボルフォントを割り当てる他のパッケージを使ってしまうと、シンボルフォントが枯渇してしまうことがあります。この場合には、`\boldsymbol` コマンドを使うとうまく行きます。

4.5 booktabs

検出：はい

CTAN: macros/latex/contrib/booktabs/

備考：booktabs パッケージは、L^AT_EX が正しくフォーマルな表を出力できるようにするために必要です。

4.6 calc

検出： はい

CTAN： macros/latex/required/tools/

備考： calc パッケージは、 $\mathrm{L}_\mathrm{Y}\mathrm{X}$ が長さやカウンタを処理する際に必要です。

4.7 color

検出： はい

CTAN： macros/latex/required/graphics/

備考： color パッケージは、 $\mathrm{L}_\mathrm{Y}\mathrm{X}$ が色付き文字を取り扱うのに必要です。これらの色は、DVI プレビューウィンドウには表示されませんが、印刷出力や PostScript® プレビューアでは、正しく出力されます。このパッケージは、graphics パッケージに同梱されています。

4.8 float

検出： はい

CTAN： macros/latex/contrib/float/

備考： float パッケージは、 $\mathrm{L}_\mathrm{Y}\mathrm{X}$ が非標準のフロートオブジェクトを作成するのに使用されます。また、フロート配置で「なんとしても現在位置に置く」という設定を利用できるようにします。

4.9 graphicx

検出： はい

CTAN： macros/latex/required/graphics/

備考： graphicx パッケージは、 $\mathrm{L}_\mathrm{Y}\mathrm{X}$ が（新しく導入された図挿入枠を使用して）PostScript®の図を挿入するのに必要です。図をスクリーンに表示するには、ghostscript が必要です。設定スクリプトは、このパッケージが使用するべきグラフィックドライバは「いいえ」³であると決定しました。

4.10 hhline

検出： はい

CTAN： macros/latex/required/tools/

備考： hhline パッケージは、表や行列における水平線の質を改善します。これは、表計算外部差込枠が使用できるようになるために必要です。

³ここで、「既定」と表示されているときは、お使いの $\mathrm{L}_\mathrm{A}\mathrm{T}_\mathrm{E}_\mathrm{X}$ 装備が、このパラメータに適した値を与えていることを示します。

4.11 hyperref

検出： はい

CTAN： macros/latex/contrib/hyperref/

備考： hyperref パッケージは、 L_YX が、お使いの文書の PDF 特性を設定し、ハイパーリンクを作成することができるようになるために必要です。

4.12 longtable

検出： はい

CTAN： macros/latex/required/tools/

備考： longtable パッケージは、 L_YX が複数ページにわたる表を正しく出力することができるようになるために必要です。

4.13 textcomp

検出： はい

CTAN： macros/latex/unpacked/textcomp.sty

備考： textcomp パッケージは、 L_YX がユーロ通貨記号のような特別な記号を出力するのに必要です。このパッケージは、 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 基本頒布の一部であり、お使いのシステムに既に装備されているはずです。

4.14 varioref

検出： はい

CTAN： macros/latex/required/tools/

備考： varioref パッケージは、参照先ラベルのページ情報を伴った参照を生成するのに必要なコマンドを導入します。

5 用紙レイアウトパッケージ

文書の余白を変更したいと、多くの人が思います。 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ には、文書の余白を設定する組込みオプションがありますが、一部の人は、これらのオプションが提供する余白は大きすぎると感じて変更したいと思うようです。この目的のためには、geometry パッケージを使うことができます。ただし、読みやすさのためには、一行が 60 文字から 70 文字以上にならないようにするべきです。

5.1 geometry

検出：はい

CTAN: macros/latex/contrib/geometry/

備考: geometry パッケージは、お使いの文書の用紙寸法や余白を任意に変えることを可能にします。しかしながら、このパッケージは a4 などの標準オプションのように、植字上正しいページレイアウトを提供するわけではありません。

6 モジュールが必要とするパッケージ

6.1 endnotes

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/misc/endnotes.sty

備考: endnotes パッケージは、脚注を節の後ろに配置するのに、いくつかのモジュールが使用します (それゆえ endnotes と呼ばれます)。

6.2 点字モジュール

6.2.1 braille

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/braille/

脚注: braille パッケージは、視覚障害者のための点字を組版することを可能にします。

6.3 イニシャルモジュール

6.3.1 lettrine

検出：はい

CTAN: macros/latex/contrib/lettrine/

備考: lettrine パッケージは、イニシャルを作成するのに使用されます。

6.4 言語学モジュール

6.4.1 covington

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/covington/

備考: covington パッケージは、連番用例や語句注解のような、言語学に便利な環境とコマンドを提供します。

6.4.2 csquotes

検出：いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/csquotes/

備考: csquotes パッケージは、実際の文書言語の慣習に適合した、文脈依存の引用符を提供します。言語学モジュールが文字様式 Meaning のために使用します。

6.4.3 enumitem

検出：いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/enumitem/

備考: enumitem パッケージは、リスト（番号・記号・記述）の外観を調整するのに多くの可能性を提供します。言語学モジュールが、下位連番用例の外観を微調整するのに使用します。

7 言語パッケージ

7.1 arabi

検出：いいえ

CTAN: language/arabic/arabi/

備考: arabi パッケージは、文書言語がアラビア語やペルシア語の文書を、L_YX が出力するために必要です。

7.2 japanese

検出：はい

CTAN: language/japanese/japanese

備考: babel japanese オプションは、文書言語が「日本語」の時に、L_YX が節見出しと日付を日本語で出力するために必要です。このオプションを使用するためには、日本語 T_EX システムの pT_EX (CTAN: language/japanese/ptex) が必要です。

7.3 lithuanian

検出：いいえ

CTAN: language/lithuanian/

備考: lithuanian パッケージは、文書言語がリトアニア語の文書を、L_YX が出力するために必要です。

7.4 mongolian-babel

検出：いいえ

CTAN：language/mongolian/babel/

備考：mongolian-babel パッケージは、文書言語がモンゴル語の文書を、L_AT_EX が出力するために必要です。

7.5 polyglossia

検出：はい

CTAN：macros/xetex/latex/polyglossia/

備考：polyglossia パッケージは、Xe_TE_X 用の言語インタフェースを提供します。これは、babel パッケージに取り代わって、Xe_TE_X の多言語機能と多スクリプト機能を利用するようにします。導入されていれば、Xe_TE_X を出力書式に指定したとき、babel の代わりに polyglossia が言語処理に使用されます。

7.6 turkmen

検出：いいえ

CTAN：language/turkmen/

備考：turkmen パッケージは、文書言語がトルクメン語の文書を、L_AT_EX が出力するために必要です。

8 その他のパッケージ

8.1 accents

検出：いいえ

CTAN：macros/latex/contrib/bezoz/

備考：accents パッケージは、L_AT_EX が下にアクセントのついた unicode 記号を正しく組版するのに必要です。

8.2 algorithm

検出：いいえ

CTAN：macros/latex/contrib/algorithms/

備考：algorithm パッケージは、L_AT_EX が「アルゴリズム」フロートを出力できるようにするために必要です。このパッケージは、短いアルゴリズムを複数ページにわたって配置したり、「アルゴリズム目次」をサポートするために使われます。

8.3 bibtopic

検出：いいえ

CTAN: [macros/latex/contrib/bibttopic/](http://ctan.org/macros/latex/contrib/bibttopic/)

備考：bibtopic パッケージは、BibTeX が生成する書誌情報を節に分けるのに使用されます。

8.4 breakurl

検出：いいえ

CTAN: [macros/latex/contrib/breakurl/](http://ctan.org/macros/latex/contrib/breakurl/)

備考：breakurl パッケージは、hyperref が使用されているときに、DVI 出力中の URL が行末で正しく改行されるようにします。

8.5 CJKutf8

検出：いいえ

URL: [language/chinese/CJK/](http://ctan.org/language/chinese/CJK/)

備考：CJKutf8 パッケージ (CJK バンドルの一部) は、 \LaTeX 本体と CJK の UTF-8 サポートとを統合します。これは、CJK と UTF-8 エンコーディングおよび hyperref とを同時に使ったときに正しい出力を得るために必要です。

8.6 dvipost

検出：いいえ

URL: <http://freshmeat.net/projects/dvipost/>

備考：dvipost は \LaTeX や \TeX が生成した DVI ファイルの後処理器です。LYX が、変更追尾記号の DVI 出力あるいは Postscript 出力を生成するのに必要です。dvipost が正しく動作するためには、 \TeX 第 2 版以降が必要です。

8.7 esint

検出：はい

CTAN: [macros/latex/contrib/esint/](http://ctan.org/macros/latex/contrib/esint/)

備考：esint パッケージは、数学の積分記号を植字するのに用いられます。もっとも普通に使われる積分記号群は、このパッケージなしでも植字できますが、各々が別フォント由来なので、つねに整合的な外観を持つわけではありません。esint パッケージは、全ての積分記号にわたる整合的な外観を提供するだけでなく、三重積分 \iiint のようなより進んだ積分記号も提供します。

8.8 fancybox

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/fancybox/

備考: fancybox パッケージは、ボックスの周りに枠を描くのに必要です (挿入▷ボックスメニュー)。

8.9 fancyhdr

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/fancyhdr/

備考: fancyhdr パッケージ (以前は fancyheadings という名称でした) は、文書レイアウトポップアップで「装飾的 (fancy)」を選択した時に用いられます。これは、2 ページごとに交代するヘッダとフッタを提供します。

8.10 fixltx2e

検出： はい

CTAN: macros/latex/unpacked/fixltx2e.sty

備考: fixltx2e パッケージは、 \LaTeX カーネル中のバグを修正します。これは、fixltx2e モジュールを取り込むことで使用することができます。

8.11 hyphenat

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/hyphenat/

備考: hyphenat パッケージは、いくつかの文書クラスと文書言語において、ハイフネーションを無効にするのに必要です。

8.12 ifthen

検出: はい

CTAN: macros/latex/base/ifthen/

備考: ifthen パッケージは、 \LaTeX 文書用の条件分岐コマンド (*if ... then ... else*) を提供します。この機能は、いくつかのクラスやモジュールが必要です。

8.13 jurabib

検出：いいえ

CTAN : macros/latex/contrib/jurabib/

備考 : jurabib パッケージ (<http://www.jurabib.org>) は、L_YX で柔軟な参考文献スタイルを用いるために、natbib の代わりとして使用することができます。本パッケージは、人文科学と法学で一般的な引用スタイル、及び脚注引用、ibid. 表記 (ibidem) 等をサポートします。jurabib 第 0.6 版以降が必要です。

8.14 listings

検出：はい

CTAN : macros/latex/contrib/listings/

備考 : listings パッケージは、L_YX がプログラムリスト (ソースコードの断片) を表示するのに使われます。本パッケージは、多くのプログラム言語、文法強調表示、行番号等をサポートします。

8.15 luainputenc

検出：はい

CTAN : macros/luatex/latex/luainputenc/

備考 : luainputenc パッケージは、LuaT_EX 用に入力エンコーディング機能を再実装します。T_EX フォントを使用し、かつ LuaT_EX が出力書式に指定されてするとき必要とされます。

8.16 mathrsfs

検出：はい

CTAN : macros/latex/contrib/jknappen/

備考 : mathrsfs パッケージは、数式様式「フォーマルスクリプト体」を出力する際、L_YX が使用します。

8.17 mathdots

検出：はい

CTAN : macros/generic/mathdots/

備考 : mathdots パッケージは、L_YX が数式コマンド `\iddots` を解析する際に使用されます。これは、文書設定の数式オプションタブで読み込ませることができ、文書中すべての数式ドットの外観を変更することもできます。

8.18 mhchem

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/mhchem/

備考: mhchem パッケージは、L_AT_EX が、化学式と反応式を数式中で生成するのに必要です。

8.19 multirow

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/multirow/

備考: multirow パッケージは、L_AT_EX が複数行の表セルを連結するのに使用され、同時に表計算外部差込枠のサポートも提供します。

8.20 natbib

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/natbib/

備考: natbib パッケージは、L_AT_EX が、利用可能な参考文献スタイルの大半への柔軟なインタフェースを生成するのに必要です (代わりに jurabib を使用することもできます)。

8.21 nicefrac

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/units/

備考: nicefrac パッケージは、L_AT_EX が本文サイズの分数 (「3/5」など) を生成するのに必要です。

8.22 nomenc1

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/nomenc1/

備考: nomenc1 パッケージは、L_AT_EX が用語定義 (nomenclature) を生成するのに必要です。

8.23 pdfpages

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/pdfpages

備考: pdfpages パッケージは、L^AT_EX が、挿入▷ファイル▷外部マテリアルで複数ページの PDF ファイルをインクルードするのに使用します。

8.24 prettyref

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/prettyref

備考: prettyref パッケージは、参照ラベルを前置詞によって認識するコマンドを提供します。L^AT_EX は、「sec:mysection」の形式でラベルをつけますが、prettyref は「sec:」の部分を解釈します。

8.25 preview

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/preview

備考: preview パッケージは、L^AT_EX が L^AT_EX 出力の一部をプレビューするのに必要です。特に、ツール▷設定▷操作性▷図で「自動プレビュー」を有効にしているときに数式表示で使われます。

8.26 rotating

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/rotating

備考: rotating パッケージは、L^AT_EX が、お使いの文書の一部の向きを変えるときに必要とします。これは、PostScript®互換プリンタでのみ正しく動作することに注意してください。

8.27 rotfloat

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/rotfloat

備考: rotfloat パッケージは、L^AT_EX がフロートを横向きに回転するのに使用します。この機能が真に機能するのは、PostScript®互換プリンタだけであることに注意してください。

8.28 slashed

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/carlisle/

備考: slashed パッケージは、L_YX がスラッシュのついた記号を数式中で正しく組版するのに必要です。

8.29 splitidx

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/splitindex/

備考: splitidx パッケージは、L_YX が複数の分割された索引を生成するのに使用されます。同梱の splitindex 変換プログラムのうち、一つを導入する必要があります。ことに注意してください。

8.30 subfig

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/subfig

備考: subfig パッケージは、L_YX がサブフロート (subfigure・subtable 等) を生成するのに使用されます。サブフロートは、それぞれにサブキャプションを付けて、他のフロート内に埋め込むことができるフロートです。

8.31 subscript

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/fragments/subscript.sty

備考: subscript パッケージは、L_YX が、一部の文書クラスにおいて下付き文字を出力するのに使用されます。T_EX 頒布版においては、通常 fragments パッケージの一部となっています。

8.32 setspace

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/setspace/

備考: setspace パッケージは、L_YX が使用中の文書の行間を変更するのに使用します。

8.33 ulem

検出： はい

CTAN： macros/latex/contrib/misc/

備考： ulem パッケージは、複数の単語や行を越えることも可能な、様々な型の下線引きや取消線および強調を提供します。本パッケージは、L_YX が、変更追跡が有効になっている文書で、取消線を引いた文章を PDF に出力するのに必要です。

8.34 units

検出： はい

CTAN: macros/latex/contrib/units/

備考: units パッケージは、L_YX が数式内で単位を適切に組版するのに必要です。

8.35 url

検出： はい

CTAN： macros/latex/contrib/misc/url.sty

備考： url パッケージは、L_YX が URL を正しく出力するのに必要です。

8.36 wasysym

検出： いいえ

CTAN： macros/latex/contrib/wasysym/

備考： wasysym パッケージは、L_YX が wasy フォント由来の追加文字を出力するのに必要です。

8.37 wrapfig

検出： はい

CTAN： macros/latex/contrib/wrapfig/

備考： wrapfig パッケージは、折返しフロートが挿入（挿入▷フロートメニュー）された時に、L_YX が使用します。このパッケージによって、全ページ幅よりも狭い図フロートを生成して、本文がその周りで折り返すようにすることができます。

8.38 xargs

検出: はい

CTAN: macros/latex/contrib/xargs/

備考: xargs パッケージは、非必須引数付きの数式マクロを挿入したとき、 $\mathrm{L}_\mathrm{Y}X$ が使用します。

8.39 xcolor

検出: いいえ

CTAN: macros/latex/contrib/xcolor

備考: xcolor パッケージは、 $\mathrm{L}_\mathrm{A}T_\mathrm{E}X$ の標準 color パッケージではカバーされていない詳細なカラー機能を提供します。 $\mathrm{L}_\mathrm{Y}X$ は、カラーの変更追尾マークをつけるのにこのパッケージを使用します。